

Regional creators magazine

mārusan

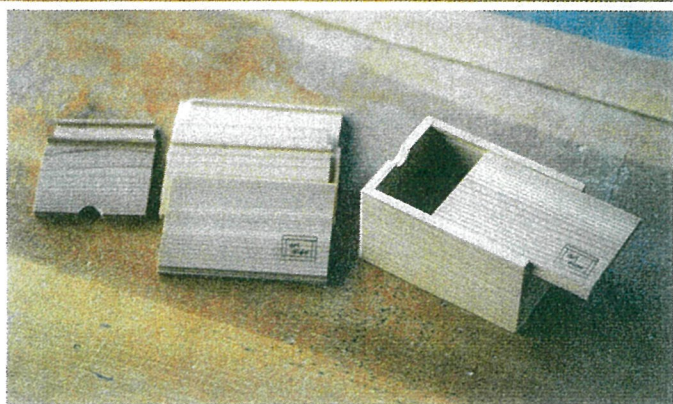


WILDSWANS



2025
VOL. 08

河内町ふるさと納税返礼品に登録予定。1段目…河内町の農産物直売所かわち夢楽の『米粉のフィナンシェ』、2段目…河内町商工会女性部『可愛いかわちママクッキー』／
外装：折重のスギのハコ ※予約販売のみ（かわち夢楽 TEL.0297-60-5111）



折重の「スギのハコ」。『ハコをあけると、あなたの物語がそっと始まるー』そんな想いの宿るスギのハコをお届けします。

※ お酒の箱に使う杉の緩衝材は、福祉施設「れるび」と一緒に手間ひまかけて作られています。この【temahima】は、折重にとって初めての福祉協働プロジェクトです。

有限会社 折重

茨城県稲敷郡河内町生板5495

TEL 0297-84-2625

営業 9:00~17:00

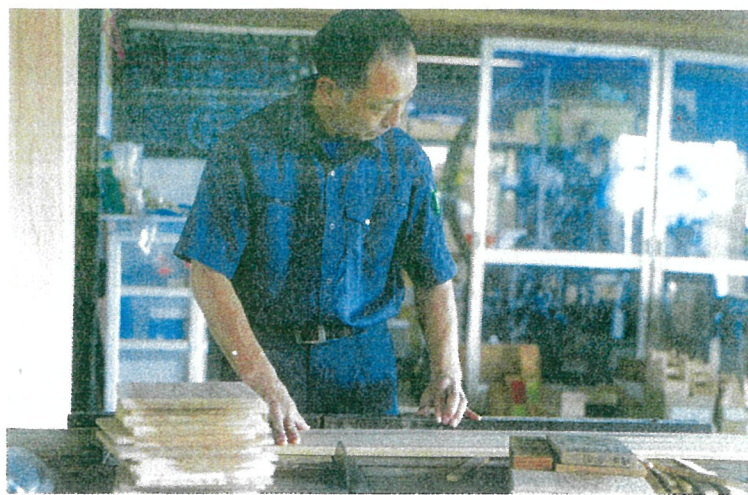
休日 日曜・祝祭日

※夏季及び年末年始休業あり

<https://www.orisige.com>



Instagram



駒村清明堂の水車

茨城の伝統工芸

駒村清明堂

スギのハコ 折重



茨城の伝統工芸品、駒村清明堂の水車を使って作られる線香。その香りをやさしく包むのは、折重が手がけた杉の容器。伝統工芸同士が出会い、杉を介してひとつになる線香と箱。職人の想いと技が織りなす新たな逸品が誕生しました。

折重は、これからも河内町から誇れるものづくりを発信し続けていきます。

杉の持つ風合いや美しさ、機能性にとどまらず、地域の歴史とものづくりの精神を現代に届ける存在となった折重の杉折箱。折重は、これからも河内町から誇れるものづくりを発信し続けていきます。

石岡市にある「駒村清明堂」の線香です。駒村清明堂では水車を利用した製法で、杉を素材にした線香を100年以上作り続けています。

「駒村さんの線香作りを拝見して、長い期間にわたって先代たちが紡いできた想いと、それを丁寧に受け継いでいく姿に、まるで華道や茶道のように一つの道を極めていく、日本の道」の精神を感じました。折箱づくりも昔から形の変わらない、かんや当て台などの道具を使って機械化できない手仕事で生み出されるものだからこそ、ものづくりの本質をしっかりと伝えていきたいと思っています。」